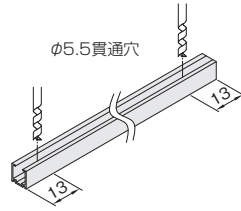


施工ガイド

■金具の取付け

1. 下部レールの取付け

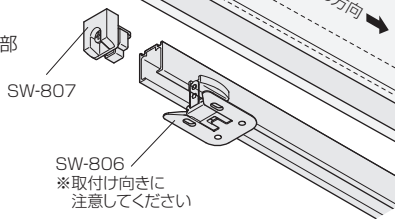
①レール芯の所定位置にφ5.5の貫通穴をあけます。(2ヶ所)



②SW-806を右図の方向でレールに挿入し、両端にSW-807を差込みます。

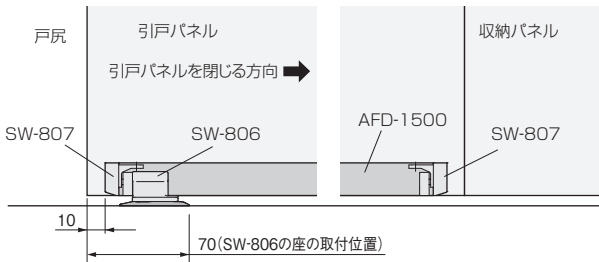


③レールを引戸パネルの下部加工溝に取付けます。



2. 下部ガイドの取付け

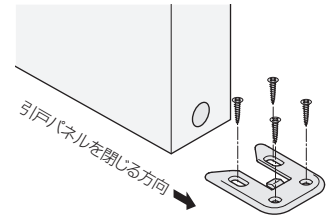
- ①収納パネルと引戸パネルで間仕切った状態にし、下部レール内のSW-806を戸尻端部まで移動させます。
- ②下図を参考に、引戸パネルの戸尻から70mmの位置に、SW-806の座を取付けられるように、取付け位置を確認します。



③引戸パネルを開けた状態にして、SW-806の座をガイドから外し、添付ねじで床に取付けます。

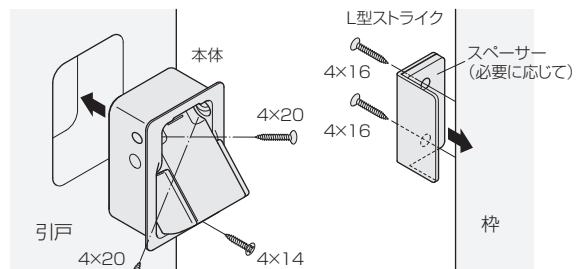
ご注意

取付ねじをインパクトドライバーなどで強く締めすぎると、座が変形してSW-806のガイドが嵌合できなくなります。



3. セーフティストッパーロングの取付け

①本体をパネルの加工部に、L型ストライクを枠に取付けます。

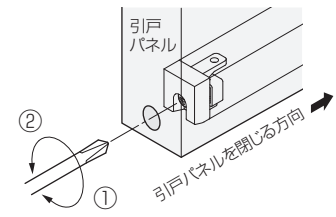


ご注意

ねじを取付ける際、先端が太いドライバーを使用すると、金具を傷つけるおそれがあります。先端が細いドライバーを使用し、事前に金具を傷つけないことを確認した上で、取付けてください。

■SW-807の調整

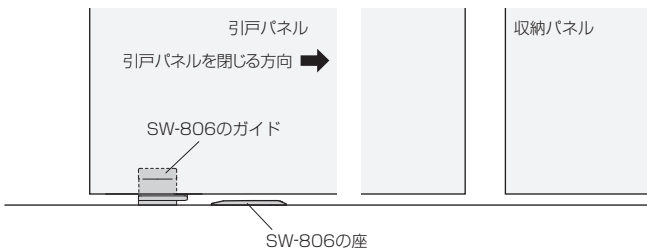
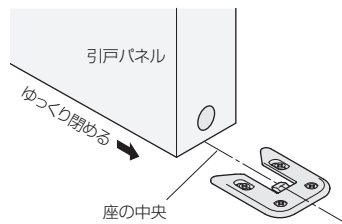
- 下部ガイドが装着されない場合
引戸パネルの木口から①の方向にドライバーで調整をしてください。
- 引戸パネルを閉めた際に収納パネルとの間に隙間が生じる場合
②の方向に調整をしてください。



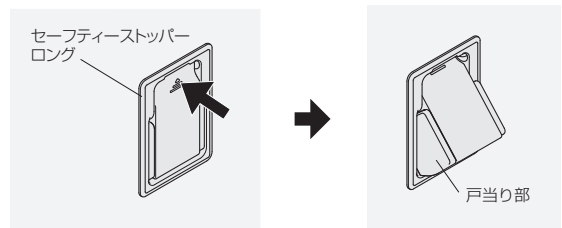
■引戸パネルの操作方法

●フロアを間仕切の時

- ①全てのパネルを収納部から引き出し、間仕切ります。
- ②引戸パネルをSW-806の座の中心位置を通過するように、ゆっくり閉めます。
- ③引戸パネルが閉まりきって収納パネルにあたると同時に、SW-806の座にガイドが嵌合されます。

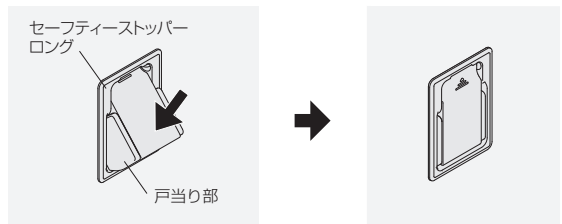


④セーフティストッパーロングの上部を押込み、戸当たり部を突出させます。



●引戸パネルを収納する時

①セーフティストッパーロングの下部を押込み、戸当たり部を収納します。



②引戸パネルを開ききると、SW-806のガイドが座から外れて、引戸パネルを収納できます。

ドア錠 1
 丁番 2
 スライド丁番 3
 開き戸金具 4
 引戸錠 5
 引戸金具 6
 上吊式引戸金具 7
 移動間仕切金具 8
 折戸金具 9
 室内用アルミ建具 10
 取手・引手 11
 スライドレールワイヤーバスケット 12
 収納・吊金具 13
 その他の家具金物 14
 物干金具・語金具 15
 真鍮アンティーク 16
 設計施工ガイド
 会社案内